

W3-05 日常点検に関連する各種ガイドライン・マニュアルの比較 - 整合性を求めて -

日本医科大学付属病院 ME 部 青木 郁香

人工呼吸を安全に行なうには人工呼吸器の故障や取扱い間違いなどを早期に発見するための日常点検が重要である。しかし、これは各個人もしくは各施設において、経験に基づく様々な方法で行われているのが現状であろう。そのような状況の中、本学会は平成 13 年 4 月に「人工呼吸器安全使用のための指針（以下、学会指針）」を発表した。これと前後し、厚生労働省が「生命維持装置である人工呼吸器に関する医療事故防止対策について（以下、厚労省通達）」を、社団法人日本臨床工学士会が「医療スタッフのための人工呼吸療法における安全対策マニュアル（以下、日臨工マニュアル）」を発表した。今回、これらのガイドライン・マニュアルの「日常点検」について相違点を明らかにする。

まず、記載上の特徴であるが、学会指針では「○点検を行なうこと」のみが記されており、点検項目はチェックリストにまとめられている。一方、厚労省通達と日臨工マニュアルは点検項目と手順を具体的に記している。手順の記載が具体的であ

るかどうかは、学会指針がガイドラインとして大まかな方針を掲げるものであるのに対し、他が手引書として作成されていることによる違いであろう。

次に日常点検の種類と名称を表に示す。3 者は多少の違いがあるものの、人工呼吸器を使用する前の点検、使用中の点検、使用後の点検がある。記載順は、学会指針が「人工呼吸器回路の組み立てと交換」のように作業を内容に分けているのに対し、他者は「開始前の準備と点検」のように作業の順序に従っている。他に用語や詳細な内容も異なる。

図に必要と考えられる日常点検の種類を示すが、点検内容は人工呼吸器のみでなく、患者の状態を含めた人工呼吸全体を確認するものでなければならない。国民は平等に良質な医療を受ける権利がある。日本全国のあらゆる施設で安全な人工呼吸が行われるためには、各種の学会や団体が協調し、日常点検における点検項目と手順を標準化すべきである。

学会指針	厚労省通達	日臨工マニュアル
使用前の点検	使用前の点検	開始前の準備と点検
開始時の点検	—	開始時の条件設定と確認
施行中の点検	使用中の点検	治療中の監視業務と機器の点検
呼吸回路交換時及び加温加湿器給水時の点検	—	呼吸回路交換の対応
使用後の点検	使用後の点検	終了時業務

表 各種ガイドライン・マニュアルにおける日常点検の種類と名称

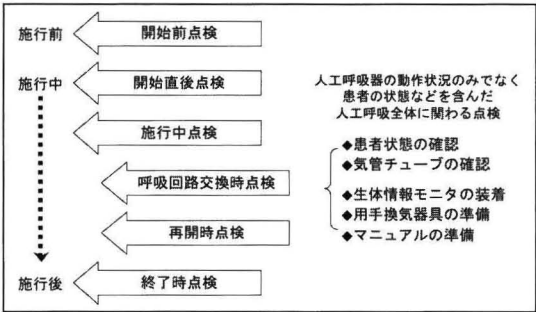


図 人工呼吸における日常点検